

2 挑戦し続ける産業づくり

① 県経済の活力を生み出す産業の育成と企業立地促進

目標

千葉の未来を支える成長分野の振興と企業立地の促進、県内企業による新製品・新技術の開発への支援などにより、県経済の活力向上を図ります。

現状と課題

経済情勢は、国の政策等によって、長引いた円高・デフレ不況から、このところ円安・株高に向かっており、国内では景気改善への期待感が高まっています。しかし、県内企業には素材産業も多く、原材料を輸入する際に円安がコスト増につながるなど、県内企業の業績改善にはまだ時間を要する状況です。鉄鋼、エネルギー、石油化学など我が国の基幹産業が集積し、本県の製造品出荷額の5割以上を占めるとともに、首都圏へのエネルギー供給源となっている京葉臨海コンビナートにおいても、世界規模での競争が激化する中で、施設の老朽化や度重なる厳しい経済情勢に直面しているところで、社会構造の変化に対応した高度化・活性化や、戦略的な事業展開が期待されているところです。

本県が引き続き経済的な発展を維持していくためには、京葉臨海コンビナートの活性化はもとより、健康・医療や環境・エネルギーなど社会ニーズを捉えた千葉の未来を支える産業の育成や、地域に定着し持続的に発展する企業を戦略的に誘致・育成していくことが必要です。

本県には高い技術力・開発力を誇る企業の集積や、研究成果を多く保有する理工・医科系大学等の最先端の研究拠点、県内各地に立地するインキュベーション施設など、新事業、新産業を育成していく上での優位な資源が数多く存在します。これらを十分に活用し、県内における産業の育成を進めていく必要があります。

取組の基本方向

県内に有する豊富な産業育成のための資源を活用し、千葉の未来を支える成長産業の振興を図るとともに、鉄鋼、石油化学など我が国経済を支える基幹産業が集積する京葉臨海コンビナートの競争力強化に取り組みます。

また、ベンチャー企業や研究開発型企業などによる新製品・新技術の開発を活発化させるため、産学官・企業間の連携促進やものづくり産業における基盤技術の高度化を図るなど、県内企業による技術開発への支援を進めます。

さらに、地域に定着し発展していく企業を県内に誘致するとともに、生産性の改善につながる事業拠点の移転・集約化や、高付加価値な事業に向けた新たな設備投資など事業の高度化につながる企業活動を促進し、雇用の場の確保や地域の経済的な活力の向上を目指します。

主な取組

1 千葉の未来を支える産業の振興*

国際競争の激化やエネルギーの制約、少子高齢化や人口減少など様々な社会的課題に直面する中、本県産業の活力を高めていくためには、本県の有する多様な産業集積や豊富な地域資源等を十分に活用していくことが重要です。

県では、健康・医療や環境・エネルギーなど、千葉の未来を支える成長産業について、産学官連携や中小企業へのトータルな支援等を通じて、その育成・振興を図ります。

また、鉄鋼、石油化学など我が国の基幹産業が集積し、本県の製造品出荷額の5割以上を占める京葉臨海コンビナートの競争力強化に取り組みます。

さらに、東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道(以下「圏央道」という。)、成田国際空港(成田空港)等のインフラ整備による立地優位性を生かし、本県経済を支える企業の誘致を図るとともに、特色ある地域資源を生かした食品産業や観光産業などの育成にも力を入れていきます。

- **健康・医療、環境・エネルギー等の成長産業の育成・振興**
- **千葉県経済をけん引する京葉臨海コンビナートの競争力強化に向けた支援**
- **多様な産業集積や豊富な地域資源を生かした地域産業の育成**

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

千葉の未来を支える産業の振興

千葉県には、国内最大の石油化学コンビナートである京葉臨海コンビナートをはじめ、高い技術力を持つものづくり企業や研究機関がたくさんあります。

県では、新たな産業振興ビジョンを策定し、こうした強みを更に伸ばして、千葉県経済の未来を支える産業を育てていきます。



京葉臨海コンビナート

2 ベンチャー企業・研究開発型企業の支援強化

東葛テクノプラザ、かずさインキュベーションセンターなどのインキュベーション施設の利用促進や、インキュベーション・マネージャー*などによる企業の成長段階に応じた多面的な支援や企業間交流など、魅力ある支援策を推進することにより、ベンチャー企業の創出・育成や、既存の中小企業の研究開発型企業への転換の促進を図ります。

また、県内経済団体や企業など、民間活力を積極的に取り入れ、ベンチャー企業の育成支援を推進します。

- 東葛テクノプラザを核としたイノベーションの創出
- ベンチャー企業の起業環境の充実や育成
- 民間団体と連携したベンチャー企業の育成

3 産学官・企業間連携によるイノベーションの促進

県内企業が、健康・医療や環境・エネルギーなどの新たな社会ニーズに対応した新製品・新技術の開発や新産業の創出を行うためには、産学官が連携し、課題の克服に向けた取組を行うことが必要です。

そこで、専門のコーディネーターを設置し、企業相互間、企業・大学間の共同研究のためのネットワークの形成促進やマッチングを図り、国などの競争的資金を活用することなどにより、社会ニーズに対応した新製品・新技術の研究開発、新産業の創出を支援します。

バイオ産業*に関しては、かずさDNA研究所を中心に、これまでの研究成果や産学官ネットワークを生かして、企業との相談窓口となるコーディネーターを配置することなどにより、共同研究や技術的な支援を推進します。

- 専門人材を活用した産学官・企業間連携の促進
- 大学等のシーズと企業ニーズとのマッチングの促進
- かずさDNA研究所の産業支援機能の強化



東葛テクノプラザ貸研究室



かずさDNA研究所

4 ものづくり基盤技術の高度化

県産業支援技術研究所、東葛テクノプラザなどの支援機関の機能を十分に確保し、中小企業の身近な相談相手として、あらゆる技術的課題に対する相談や、実用化・商品化に向けた技術開発支援、研修事業を実施し、技術力の向上を図ります。

また、海外の製品規格に関する技術相談や評価試験を実施し、中小企業の国際展開を技術面から支援するとともに、公益財団法人千葉県産業振興センター、一般社団法人千葉県発明協会と連携して、特許など知的財産の活用に関する支援を行います。

さらに、これらを実現するために、県産業支援技術研究所の機能向上など、必要な検討を進めていきます。

- 中小企業の技術・製品開発の支援
- 海外製品規格への対応の支援
- 知的財産の活用の促進
- 産業支援技術研究所の機能向上

5 戦略的企業誘致の推進

県内への企業誘致を一層推進するため、精力的な企業訪問やトップセールスを行い、本県の魅力を積極的にアピールするなど、あらゆる機会を捉えて、本県の持つ立地優位性の発信に努めるとともに、グローバル化の進展など様々な社会経済情勢の変化を踏まえた新たな企業ニーズに対応すべく、企業支援制度の充実を図ります。

また、首都圏の広域ネットワークを形成する圏央道沿線において、かずさアカデミアパークへの企業誘致を図るとともに、新たな企業の受け皿となる「茂原にいはる」「袖ヶ浦椎の森」の工業団地を地元市と共同で整備していきます。

- 戦略的な企業誘致
- 市町村と共同による新たな工業団地の整備
- 立地企業を促進する助成制度の拡充
- 外資系企業の誘致
- 工業用水の安定供給
- かずさアカデミアパーク及び周辺地域への企業誘致(再掲)



企業誘致セミナー

② 中小企業の経営基盤強化

目標

経済環境の目まぐるしい変化に対応し、成長していく中小企業の経営基盤の強化を進めます。

現状と課題

県内企業の99.8%を占める中小企業は、本県経済の成長を支える存在として、また、地域社会の担い手として、県民生活の向上に大きく寄与しています。

経済情勢は、国の政策等によって、このところ円安・株高に向かっており、大企業を中心に景気改善への期待が高まっていますが、中小企業は円安に伴うコスト増を販売価格に転嫁することが困難であることなどから、依然として厳しい状況に置かれています。さらに県内中小企業においては、消費税増税の影響なども懸念されているところです。

中小企業の資金・人材等の経営資源の不足や、景気変動の影響による中小企業の一層の経営悪化や中長期的な国内市場の縮小に対応した新事業展開への対応などが課題となっています。

取組の基本方向

大きく変革する時代に対応し、経営力を強化しながら新たな事業展開を目指す中小企業を支援することにより県内中小企業の活性化を図るため、チャレンジ企業支援センター*等においてワンストップの体制で相談に応じるほか、専門家派遣やセミナー開催による情報提供などを進めます。

また、中小企業の資金調達の円滑化に向けた支援を行うほか、国内外に対する販路の開拓に向け、相談支援や商談会の開催などを行います。

さらに、災害などに対応するためのリスクマネジメントなど、中小企業の危機管理能力の向上に向けた支援を進めていきます。

主な取組

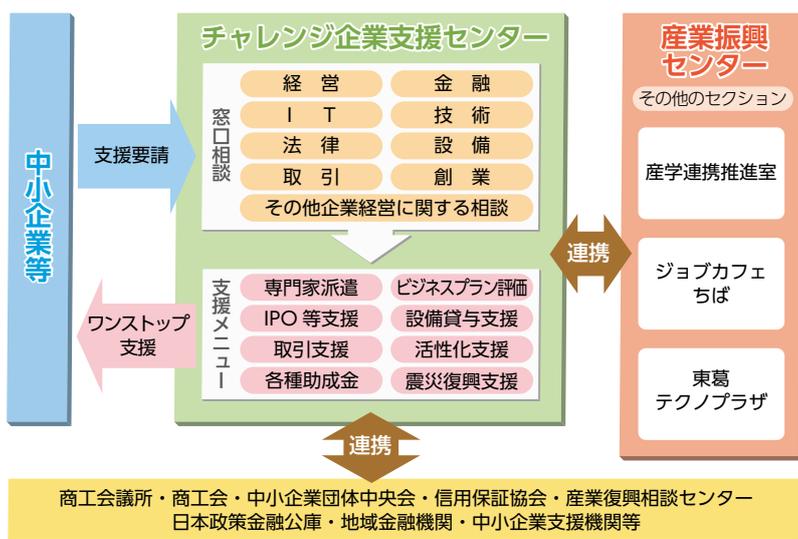
1 中小企業の経営力の向上

厳しい経営環境下に置かれている中小企業者が抱える経営、金融、技術、ICT等の様々な課題を解決するため、チャレンジ企業支援センター^{*}においてワンストップで相談に応じるほか、必要に応じて専門家派遣、情報提供等により総合的に支援を行います。

また、中小企業者の新たな事業への取組を支援するため、「経営革新制度^{*}」の普及・啓発を進めます。

- 窓口相談事業
- 専門家派遣事業
- 情報提供事業
- 経営革新制度の普及・啓発活動
- 中小企業の連携強化の推進

チャレンジ企業支援センターの機能・役割



チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

チャレンジ企業支援センター

チャレンジ企業支援センターは、中小企業者が抱えるあらゆる問題の解決を支援するため、相談窓口を一括化し、ワンストップサービスで対応しています。

必要に応じて専門家を派遣し、経営の立て直しや、新製品開発、新規事業などにチャレンジする中小企業を支援しています。

お気軽に御相談ください。



チャレンジ企業支援センター



BCP & 経営革新セミナー

2 資金調達の円滑化

担保力や信用力に乏しい中小企業が資金調達を円滑に行うことができるよう、借入負担の軽減や信用補完制度の充実に取り組みます。

また、千葉県中小企業再生支援協議会*や中小企業再生ファンド*と連携し、財務上の問題を抱えている中小企業の事業再生に向けた取組を支援します。

- 中小企業振興資金の貸付け
- 千葉県信用保証協会*に対する損失てん補
- 高度化事業融資
- 千葉中小企業再生2号ファンド*による事業再生支援

3 販路開拓に向けた支援

中小・ベンチャー企業が独自に開発した優れた製品の市場性やブランド力を高めて、売れる製品づくりを促進します。

また、県内外企業との取引拡大のため、商談会の開催や販路支援相談員による相談・支援を実施し、中小企業の販路開拓を支援します。

- ものづくり認定制度による優れた製品の顕彰
- 優れた技術・製品に関する情報の集約・発信
- 顧客志向のマーケティング活動の支援
- 新たな市場開拓への挑戦の支援
- ものづくり技術展示・商談会の開催
- 下請取引の振興

4 災害等のリスクマネジメント支援

大規模地震や風水害、新型インフルエンザなどの緊急事態が発生した際に企業がとる行動をまとめた「事業継続計画(BCP)」の作成を行うことは、緊急時に企業が早期再建を目指す上で大変重要であることから、BCPの普及・啓発等を行い、計画策定の促進を図ります。

- BCPセミナーの開催
- 窓口相談事業(再掲)
- 専門家派遣事業(再掲)

③ 地域づくり・まちづくりと連携した地域産業の活性化

目標

地域経済を支える小規模事業者の取組を促進し、地域密着型産業の育成を図ることにより、地域づくり、まちづくりと連携した地域産業の活性化を進めます。

現状と課題

少子高齢化や人口減少により、県内の各地域において、地域経済の活力が失われる状況が生まれてきています。商店街をはじめとする地域商業の衰退によるコミュニティ機能の低下や、住民の日常生活への支障が懸念されており、また、大手製造業の工場撤退による地域経済への影響も大きいことが指摘されています。

県内では、小さいながら地域を支える製品、サービスを提供し、豊かな地域づくりに不可欠な存在となっている企業や、地域の資源や特性を生かした地域密着型の事業を進める企業など、多様な小規模事業者が活躍しています。

こうした地域に密着して活躍する事業者の取組を支援し、地域における雇用の場を創出するとともに、県内の地域経済の底上げを図っていくことが必要です。

取組の基本方向

商店街をはじめとする地域商業の機能の活性化を図るため、地域に密着した意欲ある商店街などの取組を支援します。

また、地域の中小企業などによる農商工連携や地域資源を活用した商品化などの取組や、地域と連携した太陽光発電や風力発電等の導入に向けた取組などを支援し、地域の中小企業の活性化が地域の活性化に結びつき相乗効果を生むよう、地域経済の活性化に向けた取組を進めます。

このため、商工関係団体を通じ、地域密着型の小規模事業者の取組支援や、創業に向けた相談支援などを進めるとともに、多様な人材や組織が、地域において連携して地域課題の解決や新事業創出に向けた取組を進めていけるよう、様々な支援を図っていきます。



商店街の様子(柏二番街商店会)

主な取組

1 地域を支える商店街等の振興

地域の商業機能を確保するため、商店街をはじめとする多様な地域商業の担い手が行う地域商業の課題解決や消費者のニーズに応じた取組など、活性化に向けた意欲ある取組を支援します。

また、次代を担う若手商業者の育成に向けた講座の開催やネットワークづくりに対して支援します。

- 地域商業機能の活性化に向けた取組への支援
- 中心市街地の活性化促進
- 商店街若手リーダーの育成
- 商店街連合組織の機能強化
- 「商業者の地域貢献に関するガイドライン*」による取組促進

2 農商工連携や地域資源の活用による地域の活性化

地域経済の基盤である農林漁業者と商工業者等とが有機的に連携し、本県の強みである豊かな農林水産品などの資源を最大限に生かしながら、新商品・新サービスの開発や販路開拓などを行う、いわゆる農商工連携や地域資源活用等の事業を総合的に支援し、県内地域経済の活性化を目指します。

- 農商工連携事業*の支援
- 地域資源を活用して中小企業者が行う新商品等開発事業の支援
- 地域資源の活用や農商工連携の取組を促進するためのセミナー等の実施

3 地域と連携した太陽光発電や風力発電等の導入促進

エネルギー源の多様化や環境負荷の低減に加え、観光振興など地域経済の活性化につながるよう、平成24年3月に策定した「新エネルギーの導入・既存エネルギーの高度利用に係る当面の推進方策」*に基づき、地元企業による太陽光発電や風力発電等の導入事業や、地域の創意工夫による主体的な取組など先導的な取組を支援します。



農商工の連携により開発されたレモン加工商品



FOODEX2013 (国際食品・飲料展)での千葉県ブース

- 民間事業者の太陽光発電や風力発電等の導入に係るワンストップ窓口での相談や情報提供
- 地元企業や地域による主体的な太陽光発電、風力発電等の活用の取組に対する支援
- 市町村・県民・民間事業者などが実施する再生可能エネルギー・省エネルギー設備導入の支援(再掲)
- 民間事業者による県有資産(土地・施設)を活用した再生可能エネルギー設備の導入促進(再掲)

4 商工関係団体を通じた創業支援と小規模事業者への支援強化

商工会や商工会議所などを通じ、地域のニーズに即した新しい事業の創造や、地域に密着した事業の着実な展開を促します。特に、商工会等が自主的に取り組む新たな事業やイベントの開催などを積極的に支援するとともに、創業に関するセミナーの開催や、新たな取組に向けた事業者の連携促進、専門家によるアドバイスなどを進めます。

- 商工会・商工会議所による地域経済の活性化に向けた提案に対する支援
- 商工関係団体による地域での創業支援などをはじめとした相談・指導に係る支援
- 中小企業の連携強化の推進(再掲)

5 多様な人材・組織を生かした経済活性化

多様なキャリアを持つ人々や組織が、それぞれの事情に応じた多様で柔軟な働き方で、地域での課題解決や新事業創出に取り組むことにより、地域密着型の多様な産業が創出されるよう支援を進めます。

また、地域経済の活性化を図るため、女性人材の育成・支援等に関する民間企業等の理解を広め、女性の活躍を促進します。

- 企業、経済団体等との連携による地域経済の活性化と官公需施策の推進
- コミュニティビジネスなど地域密着型産業の振興
- 障害のある人や女性、高齢者などに対する就労支援
- 様々な主体との連携による男女共同参画の意識の普及・啓発
- 男女共同参画に積極的に取り組む民間企業等の表彰

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

地域と中小企業による活性化の好循環

地域経済の持続的な成長のためには、地域が活性化し市場が拡大することで、そこで事業展開している中小企業が元気になり、それによって地域が一層活性化するという好循環を生み出していくことが大事です。



4 雇用対策の推進と産業人材の確保・育成

目標

地域の産業を担う人材を確保・育成するため、効果的な職業能力開発を推進するとともに、求人と求職のミスマッチ解消など、きめ細かな就労の支援に取り組みます。
企業における働きやすい良好な環境づくりを進めていきます。

現状と課題

経済情勢は、国の政策等によって、このところ改善の兆しが見られますが、県内の雇用情勢は、緩やかに持ち直しつつあるものの、依然として厳しい状況にあります。

特に、フリーターをはじめとする職業スキルを積む機会が得られなかった若年層、出産・子育て等で仕事を離れた女性、障害のある人、中高年齢離職者などは、本人に意欲があっても就労、特に正規雇用としては難しい状況にあり、その対応が課題となっています。

一方、介護分野や中小企業など、労働力を必要としているにも関わらず、現状でも人材の確保・育成に苦勞している業種や企業もあります。

また、中長期的な課題としては、少子高齢社会の進展などにより、労働力人口が不足することが懸念されています。

これらの課題や企業ニーズに的確に応えるため、雇用対策の推進や産業人材の確保・育成がより一層必要になっています。

取組の基本方向

求職者の誰もが就労し、自立できる社会となるように就業支援や職業能力開発、求人と求職者のミスマッチの解消などを行います。

また、女性や高齢者等の再就職支援に加えて、ニートの職業的自立を支援するなど新たな労働力を確保する取組を実施します。

さらに、障害のある方については、職業訓練をはじめとする就労支援を行うとともに、その受け皿となる企業や事業所等に対しても、雇用促進の取組を行います。

本県の産業を支える地域の労働力を確保・育成するため、高等技術専門校の統合・大規模校化を進め、訓練内容の充実を図るとともに技能振興や企業・高校等との連携を強化します。

さらに、誰もが安心して元気に働き続けられる労働環境の整備を促進するため、労働に関する制度やワーク・ライフ・バランス等について県民や企業等の理解を広め、意識の啓発を図ります。

主な取組

1 意欲と能力を生かす就労支援

フリーターをはじめとする職業スキルを積む機会が得られなかった若年者、出産・子育て等で仕事を離れた女性、障害のある人、中高年齢者等、意欲があっても就労、とりわけ正規雇用に至るのが難しい状況にある人などを対象に、ジョブカフェちばや千葉県ジョブサポートセンター等において、相談から就職までの一貫した就業・定着支援を実施します。

また、働く側(求職)と雇用する側(求人)の双方の条件とニーズに視点を向け、求職者への支援を実施することで雇用のミスマッチの解消に取り組みます。

- フリーター等の若年者に対する就労支援
- 出産・子育て等で離職した女性・中高年齢離職者の就職支援
- 求職者に対する生活の安定、再就職の促進等一貫した支援
- 障害のある人に対する就労支援



就労支援(ジョブカフェちば)



障害のある人に対する職業訓練

チーバくんの 光り輝く県づくりコラム

就労支援と人材育成

県では、地域で産業を担う人たちが足りなくならないように、職業訓練や、求人と求職のミスマッチ解消などに取り組んでいます。

また、企業において働きやすい良好な環境づくりを進めるなど、誰もが楽しく働くことができる社会を目指しています。



2 産業を支える職業能力開発と技能振興

離職者・転職者をはじめとする様々な求職者を対象に、高等技術専門校や大学、専修学校、NPO法人、企業などの教育訓練機関を活用して、就職に結びつく効果的な職業訓練を実施します。

また、県内地域のものづくり企業を支える中核人材の確保・育成を推進するため、高等技術専門校の統合・大規模校化を進め、訓練内容の充実や体制の強化を図ります。

- 就職に結びつく効果的な職業訓練
- 高等技術専門校の統合・大規模校化の推進

3 中小企業等の人材確保・育成支援

将来の労働力不足に対応するため、ジョブカフェちば等での採用支援などにより、中小企業等の人材確保を支援します。

また、ものづくり分野を中心とした中小企業等の人材確保・育成を支援するため、企業などと連携して、若年技術者などの人材供給や、従業員の能力開発を図るための職業訓練を実施します。

- 中小企業の採用活動支援
- 中小企業の人材育成支援
- 地域の企業等との連携によるものづくり若手技術者の育成

4 働きやすい環境の整備

年齢、性別、障害の有無や家庭環境などの違いに関わらず、全ての県民がライフスタイルに合わせてそれぞれの意欲と能力を生かして働くことができる労働環境の整備を目指します。

また、ワーク・ライフ・バランスの実現などに向け、県民、企業等の理解を広め、意識の啓発を図っていきます。

さらに、賃金・労働時間など労働条件に関する法令等の制度や正しい労働知識の普及啓発を図るとともに、複雑で多様化する労働問題や心の健康問題に対する労働相談等を実施するなど、誰もが安心して元気に働き続けられる環境づくりを促進します。

- ワーク・ライフ・バランスを実現し、能力を発揮できる職場環境づくりの普及促進
- メンタルヘルス相談も含めた労働相談の実施
- 労働分野における正しい理解を進めるためのセミナー等の実施



職業訓練(溶接)